

# いくつかな

『みなさん。おうちで **かしこく** がくしゅうしていますか？

きのうの がくしゅうの「0」や「5」や「8」は、じょうずに かけましたか？

きょうは、クイズもあるから、たのしみに **しながら** よんでください。』

## 教科書を使った学習の進め方

### 準備物

[算数の教科書10ページ～11ページ、数図ブロック(さんすうセットに入っています)、赤鉛筆]



初めに、算数の教科書10ページと11ページを開いてください。

左の写真のように、ブロックを10個置いてください。

教科書の写真には、いろいろな物がいろいろな個数で並んでいますね。

お子さんに「**このお部屋には、どんな物がある？**」と聞いてみてあげてください。

すると、お子さんは「**トライアングル**」、「**ピアノ**」・・・とたくさん答えてくれると思います。

その後、右の写真のように、ブロックを1つ取り出して、置いてみてください。

さあ、ここで問題を出してみてください。

「**このブロックと同じ数の物は、どれですか？**」

**同じものにブロックを置いてみよう。」**



このブロックと同じ数の物として、「**ピアノ**、**おおだいこ**、**たな**、**とけい**、**こくばん**、**けんばんハーモニカ**」と、たくさん答えると思います。



ここでは、「おおだいこ」の上にブロックを置いたこととして、説明を続けます。

左の写真のように、お子さんがブロックを置いたら、

「**おおだいこは、いくつあったの？**」と問いかけてください。

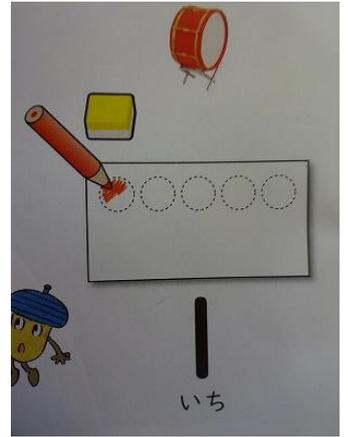
お子さんが、「おおだいは、1つあるよ。」と答えてくれると思います。

そこで、「教科書の○のところを、たいこの数だけぬってごらん。」と促してください。

お子さんが○を一つていねいにぬることができたら、

「上手にぬることができたね。今度は2つの物をさがそうか。」と、ブロックを2つ出して、促してください。

教科書の写真に「いち、に」と、数を唱えながらブロックを置けると、とてもよいと思います。



---

『「3」や「4」も うまく さがして、いろぬりまで できたかな？

それでは、1ねんせいの みなさんに クイズです。

きょうかしの しゃしんを よ〜くみて、「5つ あるもの」を さがして みましょう。

きっと、2しゅるい あるはずです。こたえは、あしたに はっぴょう します。』

---

○絵を見てさがすこと

○声に出して、数を唱えること

○唱えている声にあわせて、ブロックを操作すること

すべてが、とても大切な学習です。

上の説明にあるような、おうちの方からのお声かけがあることで、お子さんが量的な感覚をともないながら数を知っていけると思います。

どうぞよろしく願いいたします。